

令和元年9月24日

後期履修ガイダンス

理工学部教務委員長

田 中 徹



4年間の履修の流れ



	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
教養教育科目	大学入門科目							
		外国語科目（英語）						
	情報基礎概論							
		基本教養科目						
			インターフェース科目					
専門教育科目	学部共通基礎科目							
	学部共通専門科目							
		コース類共通専門科目						
			専門科目				卒業研究	

1年次で履修する科目



	専門教育科目						教養教育科目	履修登録 単位数
	学部共通 基礎科目	学部共通 専門科目	コース類共通 専門科目	専門科目 (必修)	専門科目 (選択)			
1 年 前 期	理工リテラシー-S1 (通年※)	微分積分学Ia/Ib	2				大学入門科目 I	2
		線形代数学Ia/Ib	2				基本教養科目 (1科目)	2
		物理学概説	2				情報基礎概論	2
		化学概説	2				英語A	1
		生物学概説	2					
		データサイエンス I	2					
		理工概論	2					
	小計	小計	14				小計	7
1 年 後 期	理工リテラシー-S1 (通年※)	微分積分学 II a/ II b	2				基本教養科目 (3科目)	6
		線形代数学 II a/ II b	2				英語B	1
		物理演習	1					
		化学演習	1					
		コンピュータプログラミング	2					
		データサイエンス II (専門導入科目1)	2					
		(専門導入科目2)	2					
	小計	小計	14				小計	7

前期：11科目(21単位)

後期：12科目(21単位) + 理工リテラシー-S1 (通年,1単位)

合計43単位

※後期：成績優秀者(14単位以上修得かつGPA2.5以上)は +4単位履修登録可能 理工p.6-4

【重要】2年次への進級要件

理工p.2-8

理工学部で
何を学ぶか

以下に該当する場合、2年次以降の専門科目の履修に必要な基礎学力の形成が不十分と判断され、進級できません。

(理工学部履修細則 別表 I 5備考(5))

- 2年次への進級は,
 - 1) 1年次に開講される教養教育科目,
 - 2) 理工学部で開講される理工リテラシーS1,
学部共通専門科目及びコース類共通専門科目,
のうち卒業要件単位を30単位以上修得している者に認められる。
- 2年次への進級が認められなかった者は、2年次以降に開講される専門科目を履修することはできない。

1年次後期の時間割



	1校時 8:50-10:20	2校時 10:30-12:00	3校時 13:00-14:30	4校時 14:40-16:10	5校時 16:20-17:50
月		専門導入科目 〔7科目〕	微分積分学IIa, IIb, 線形代数学IIb	コンピュータプログラ ミング, データサイエンスII	《微分積分学基礎演習》 《線形代数学基礎演習》
火		物理演習, 化学演習	英語B	コンピュータプログラ ミング, データサイエンスII	
水	基本教養科目	基本教養科目	基本教養科目	(留学支援英語B)	
木	基本教養科目	基本教養科目 ----- 【教職概説】	物理演習, 化学演習	----- 【体育実技 I・II】	
金		英語B	微分積分学IIb, 線形代数学IIa,IIb	専門導入科目 〔7科目〕	《微分積分学基礎演習》 《線形代数学基礎演習》

• 右記(※)を除き、全て必修科目。 ※ 《》は自由科目。 【】は教職科目。 ()は該当者のみ。

• 1年後期上限21単位により、基本教養科目は3科目(6単位)履修可能。

履修登録について



○ 教養教育科目

- 基本教養科目
- 英語B（および留学支援英語B）

→ 教養教育の指示(掲示・連絡)に従ってください。

○ 専門教育科目

- 微分積分学Ⅱ a/b、線形代数学Ⅱ a/b
- 物理演習、化学演習
- コンピュータプログラミング、データサイエンスⅡ

→ コース類配属を元にクラス編成。
理工教務で一括して履修登録します。
各自ライブキャンパスで時間割を確認してください。
講義室は時間割表で確認！

「微分積分学基礎演習」「線形代数学基礎演習」の開講



- 自由科目、各1単位。（卒業要件には含まれません）
- 内容：微分積分学、線形代数学の補習
- 前期「微分積分学 I a/b」、「線形代数学 I a/b」が不可だった学生は履修すること。
- その他の学生でも、数学が苦手な学生は履修が望ましい。
- **【重要】履修登録はライブキャンパスより各自で行うこと。**



「コンピュータプログラミング」の 受講の注意点

- 9月20日一斉送信している資料「ソフトウェアのインストールについて」をよく読み、**授業の開始前までに必ずソフトウェアをインストールしておくこと。**
- **インストールしていない場合は、欠席扱いにする場合があります。**
- インストールについて分からないことがある場合は、担当教員に問い合わせること（連絡先は、シラバスを参照すること）。
- 受講時は、必ずPCを持参すること。

専門導入科目について



- 各コースの専門科目の導入科目。
- 各分野から2科目開講。月2限、金4限。
- 各コマ必ず1科目受講（科目ごとに人数制限あり）
- 興味のある分野から選択。
- 2年生でのコース配属後、**本科目未受講により不利になることはない**ので、幅広い知識を得ることを目的に第一希望以外の分野の科目を選択しても構いません。

専門導入科目について



コース類	分野	月2限	金4限	最大人数
数学	数学	応用微分積分学	応用線形代数学	45
	情報	知能情報システム工学入門	情報ネットワーク工学入門	105
化学	化学	基礎化学A	基礎化学B	128
物理	物理	現代物理学	基礎力学	53
	機械	機械システム工学概論	機械エネルギー工学概論	135
	電気電子	基礎電磁気学	基礎電気回路	128
	都市	建設力学基礎	空間設計基礎	128

専門導入科目の履修について



- 全員希望を提出 (期限 : 9月25日(水) 23:59)。希望集中の場合、抽選。
- 特別入試合格者 (入学時に分野が決まっている学生)
 - なるべく所属する分野の科目を履修して下さい。
 - 広い知識を獲得することを目的に他分野科目を履修してもOK。
- 一般入試合格者
 - 興味のある分野の科目を履修して下さい。
- 抽選について：
 - 下記の優先権に従い、振り分けを行います。
 - 優先権：
 - ①該当する分野の特別入試合格者
 - ②該当するコース類所属の学生
 - ③その他のコース類の学生

注意：
配布スライドから
修正しています。

専門導入科目の希望登録について

注意：
配布スライドから
一部修正。

- ウェブより登録
- 曜日ごと第1～7希望まで、異なる科目を登録すること。

提出期限：9月25日(水) 23:59

注意：

- 複数回登録した場合は最新の登録データを使う。
- 修正したい場合は登録し直すこと。
- 自分の記録用に画面のコピーを撮っておくこと。
(事前に紙に書いた方が入力しやすい。)

~~○ 特別入試合格者は登録不要 (自動的に割り当てます。)~~

特別入試合格者
も登録が必要。

専門導入科目の希望登録ページ



理工学部HP

理工学部理工学科 新生向け学内リンク

※アドレス変更の可能性があるので、ブックマーク(お気に入り登録)は必ず[理工学部トップページ](#)にして下さい。

[学生便覧](#)

[履修の手引き\(理工学部で何を学ぶか、教養教育\)](#)

[ライブキャンパス](#)

[学年歴](#)

[オンラインシラバス](#)

[時間割](#)

[学内マップ:本庄キャンパス](#)

[ラーニング・ポートフォリオ](#)

[2019.4.4 学修オリエンテーション資料](#)
(※オリエンテーション時に周知のパスワードが必要です。)

[専門導入科目の希望登録](#) ← **登録期限:9月25日(水) 23:59**
(2019.9.24の履修ガイダンス聴講後に登録すること。それ以前に登録すると不利益を被ることがあります。)

理工学部で何を学ぶか[2019年度版]「8 取得できる資格等」更新版 ([近日公開予定](#))





専門導入科目 希望調査

* 必須

1. 学籍番号 *

回答を入力してください

2. 氏名 *

回答を入力してください

3. 入学種別は？ *

- 特別入試（推薦、AO-I、AO-II、留学生特別選抜）：入学時に分野が決まっている学生はこちら
- 一般入試（前期、後期）



送信

パスワードを記載しないでください。 [不正使用を報告する](#)

学籍番号、氏名は、
必ず入力すること。

提出期限：9月25日(水) 23:59



4. 月2限の希望順位*

注意：第1～7希望まで異なる科目を登録すること。1科目に希望順位を重複して登録した場合、正しい振り分けができず、不利益を生じることがあります。

	応用微積分 分学	知能情報シ ステム工学 入門	基礎化学A	現代物理学	機械システ ム工学概論	基礎電磁気 学	建設力学基 礎
第1希望	○	○	○	○	○	○	○
第2希望	○	○	○	○	○	○	○
第3希望	○	○	○	○	○	○	○
第4希望	○	○	○	○	○	○	○
第5希望	○	○	○	○	○	○	○
第6希望	○	○	○	○	○	○	○
第7希望	○	○	○	○	○	○	○

5. 金4限の希望順位*

注意：第1～7希望まで異なる科目を登録すること。1科目に希望順位を重複して登録した場合、正しい振り分けができず、不利益を生じることがあります。

	応用線形代 数学	情報ネット ワーク工学 入門	基礎化学B	基礎力学	機械エネル ギ-工学概 論	基礎電気回 路	空間設計基 礎
第1希望	○	○	○	○	○	○	○
第2希望	○	○	○	○	○	○	○
第3希望	○	○	○	○	○	○	○
第4希望	○	○	○	○	○	○	○
第5希望	○	○	○	○	○	○	○
第6希望	○	○	○	○	○	○	○
第7希望	○	○	○	○	○	○	○

月2限、金4限、各科目の希望順位を登録すること。

注意：
第1～7希望まで異なる科目を登録すること。

1科目に希望順位を重複して登録した場合、正しい振り分けができず、不利益を生じることがあります。

提出期限：9月25日(水) 23:59

理工リテラシーS1



- 通年の必修科目です。
- 全ての課題を終了させないと、単位取得は出来ません。
- 不明の点や、何らかの理由で課題に対応できなかった場合は、すぐに下記いずれかの教員に連絡して、指示に従ってください。

帯屋	洋之	先生	4号館3階	308室
田中	徹	先生	5号館3階	303室
鯉川	雅之	先生	9号館8階	802室

- 時間外に実施される科目なので、履修単位の上限には含まれません（CAP外）。

理工リテラシーS1の今後の予定



課題	日程	授業内容	提出課題等
8	9月24日 (火)	後期開始前オリエンテーション <ul style="list-style-type: none">・コース類の配属確認, クラス確認・後学期履修ガイダンス 大学院棟 401, 301, 302, 303室	要出席
9	9月1日 ～ 10月31日	後期ラーニング・ポートフォリオ入力 <ul style="list-style-type: none">・前期の学修状況を振り返り自己評価・後期の学修目標を設定	LP学生入力履歴
10	9月1日 ～ 10月31日	後期チューター面談 <ul style="list-style-type: none">・チューター教員との個人面談	LP教員入力履歴
11	10月 ～ 11月	情報教育 I <ul style="list-style-type: none">・情報セキュリティに関する e-ラーニング	e-ラーニング履歴
12	11月13日 (水) 4校時	ハラスメント講習会 <ul style="list-style-type: none">・各種ハラスメントについての理解 大学院棟 401, 301, 302, 303室	終了後アンケート

理工リテラシーS1の今後の予定



課題	日程	授業内容	提出課題等
13	10月 ～ 12月	基礎学力確認テスト ・CLCコンテンツの英語, 数学	e-ラーニング履歴
14	7月10日 ～ 11月30日	言語・非言語WEBテスト ・キャリア支援企業による自己能力 分析試験 (WEB受験)	受験履歴
15	12月11日 (水) 15時	キャリア教育Ⅱ ・キャリア支援企業によるセミナー WEB受験結果の解説 大学院棟 401, 301, 302, 303室	アンケート
16	2020年 1月22日 (水) 4校時(予定)	コース分けガイダンス ・各コースの説明 ・コース配属ルールの確認 大学院棟 401, 301, 302, 303室	出席

理工リテラシーS1 (既に終了したもの)



課題	日程	授業内容	提出課題等
1	4月4日	新入生オリエンテーション	出席・時間割記入
2	4月4日	プレイスメントテストⅠ ・数学の筆記試験 (マークシート)	答案
3	4月4日	プレイスメントテストⅡ ・化学の筆記試験 (マークシート)	答案
4	5月9日 ～ 6月4日	前期ラーニング・ポートフォリオ入力 ・入学時の状況, 将来像 ・入学時目標	LP学生入力履歴
5	5月9日 ～ 6月4日	入学時チューター面談 ・チューター教員との個人面談	LP教員入力履歴
6	5月 ～ 6月	新入生対象の講演会 ・学外から講師を招いての講演会 教室未定	講演終了後アンケート
7	7月10日 水4	キャリア教育Ⅰ ・キャリア支援企業による理工系新入生向けセミナー 大学院棟 401, 301, 302, 303	終了後アンケート

「取得できる資格等」に関する情報



理工学部理工学科 新入生向け学内リンク

※アドレス変更の可能性があるので、ブックマーク(お気に入り登録)は必ず[理工学部トップページ](#)にして下さい。

[学生便覧](#)

[履修の手引き\(理工学部で何を学ぶか、教養教育\)](#)

[ライブキャンパス](#)

[学年歴](#)

[オンラインシラバス](#)

[時間割](#)

[学内マップ:本庄キャンパス](#)

[ラーニング・ポートフォリオ](#)

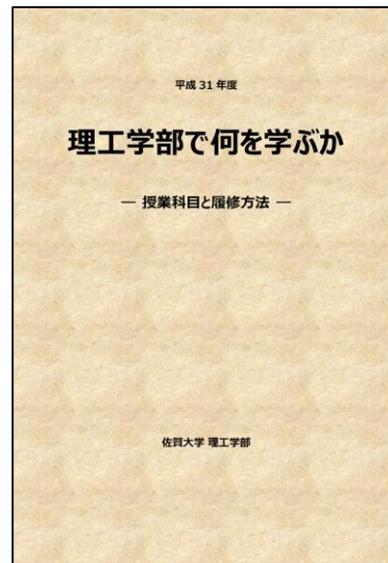
[2019.4.4 学修オリエンテーション資料](#)

(※オリエンテーション時に周知したパスワードが必要です。)

[専門導入科目の希望登録](#) ← **登録期限:9月25日(水) 23:59**

(2019.9.24の履修ガイダンス聴講後に登録すること。それ以前に登録すると不利益を被ることがあります。)

理工学部で何を学ぶか[2019年度版]「8 取得できる資格等」更新版 **(近日公開予定)**





資格の名称	関連コース	必要条件など
測量士	理系： 数理サイエンスコース 物理学コース 工系： 都市基盤工学コース 建築環境デザインコース	課程認定されたコースにおいて 測量に関する科目を修め、卒業後、1年以上の実務経験が必要 ・課程認定された理系コース：測量学は不要。40単位以上 ・課程認定された工系コース：測量学が必須。30単位以上 単位取得については、別添の審査基準を遵守すること（コース毎に認定された科目の単位を取得する必要がある）
測量士補	理系： 数理サイエンスコース 物理学コース 工系： 都市基盤工学コース 建築環境デザインコース	課程認定されたコースにおいて測量に関する科目を修め卒業した者 ・課程認定された理系コース：測量学は不要。40単位以上 ・課程認定された工系コース：測量学が必須。30単位以上 単位取得については、別添の審査基準を遵守すること（コース毎に認定された科目の単位を取得する必要がある）
建設機械施工技士	指定コース：機械エネルギー工学コース、メカニカルデザインコース、電気エネルギー工学コース、電子デバイス工学コース、都市基盤工学コース、建築環境デザインコース	・大学を卒業後、以下の実務経験が必要 指定コース：一級3年以上 二級1年以上 指定コース外：一級4年半以上 二級1年半以上 ・指定コースの場合、卒業証明書のみで受験申請可能
土木施工管理技士	指定コース：都市基盤工学コース、建築環境デザインコース	・大学を卒業後、以下の実務経験が必要 指定コース：一級3年以上 二級1年以上 指定コース外：一級4年半以上 二級1年半以上 ・指定コースの場合、卒業証明書のみで受験申請可能。
建築施工管理技士	指定コース：機械エネルギー工学コース、メカニカルデザインコース、電気エネルギー工学コース、電子デバイス工学コース、都市基盤工学コース、建築環境デザインコース	・大学を卒業後、以下の実務経験が必要 指定コース：一級3年以上 二級1年以上 指定コース外：一級4年半以上 二級1年半以上 ・指定コースの場合、卒業証明書のみで受験申請可能。

電気工事施工管理技士	指定コース：機械エネルギー工学コース、メカニカルデザインコース、電気エネルギー工学コース、電子デバイス工学コース、都市基盤工学コース、建築環境デザインコース	・大学を卒業後、以下の実務経験が必要 指定コース：一級3年以上 二級1年以上 指定コース外：一級4年半以上 二級1年半以上 ・指定コースの場合、卒業証明書のみで受験申請可能。
管工事施工管理技士	指定コース：機械エネルギー工学コース、メカニカルデザインコース、電気エネルギー工学コース、電子デバイス工学コース、都市基盤工学コース、建築環境デザインコース	・大学を卒業後、以下の実務経験が必要 指定コース：一級3年以上 二級1年以上 指定コース外：一級4年半以上 二級1年半以上 ・指定コースの場合、卒業証明書のみで受験申請可能。
造園施工管理技士	指定コース：都市基盤工学コース、建築環境デザインコース	・大学を卒業後、以下の実務経験が必要 指定コース：一級3年以上 二級1年以上 指定コース外：一級4年半以上 二級1年半以上 ・指定コースの場合、卒業証明書のみで受験申請可能。
発破技師	全コース	・本人が申請（科目免除、ただし本人確認証明書の添付が必要。）
作業環境測定士（第1種および第2種）	全コース	・本人が申請 ・卒業後、1年以上労働衛生の実務に従事した経験が必要（卒業証明書（原本）又は卒業証書の写しが必要。）
衛生管理者（第1種および第2種）	全コース	・本人が申請 ・卒業後、1年以上労働衛生の実務に従事した経験が必要（卒業証明書（原本）又は卒業証書（学位記）の写し・事業者証明書が必要。）
ガス溶接作業主任者	全コース	・本人が申請 ・溶接に関する学科以外は、1年以上ガス溶接等の業務に従事した経験が必要
労働衛生コンサルタント	全コース	・本人が申請 ・卒業後、5年以上安全の実務に従事した経験が必要
毒劇物取扱者	生命化学コース、応用化学コース	・本人が申請 ・卒業証書、成績証明書、単位取得証明書により受験申請可能

危険物取扱者（甲種）受験資格	生命化学コース、応用化学コース、他コース	<ul style="list-style-type: none"> ・本人が申請 ・化学系の 2 コースでは卒業証明書又は卒業証書により受験申請可能。 ・他コースでは化学系の科目を 15 単位以上修得した物は単位修得証明書又は成績証明書により受験申請可能。
消防設備士(甲種)	生命化学コース、応用化学コース、機械エネルギー工学コース、メカニカルデザインコース、電気エネルギー工学コース、電子デバイス工学コース、都市基盤工学コース、建築環境デザインコース	<ul style="list-style-type: none"> ・本人が申請 ・卒業証書・学位記等のコピー、または卒業証明書・単位修得証明書・科目履修証明書の原本により受験申請可能。
第一種ボイラー・タービン主任技術者	全コース	<ul style="list-style-type: none"> ・本人が申請 ・所定の単位取得後、実務を経て申請することにより取得できる。
電気主任技術者	電気エネルギー工学コース、電子デバイス工学コース	<ul style="list-style-type: none"> ・所定の単位を修得後、実務を経て申請することにより資格が認定される。 ・修得すべき科目等は 8.2 参照のこと。
電気通信主任技術者	電気エネルギー工学コース、電子デバイス工学コース	<ul style="list-style-type: none"> ・所定の単位を修得することで、試験科目の一部が免除される。 ・修得すべき科目等は 8.2 参照のこと。
電気工事士	電気エネルギー工学コース、電子デバイス工学コース	<ul style="list-style-type: none"> ・第一種電気工事士：所定の単位を修得し卒業することで、資格取得に必要な条件のうち、実務経験の必要年数が短縮される。 ・第二種電気工事士：所定の単位を修得し卒業することで、資格取得に必要な条件のうち、筆記試験が免除される。 ・修得すべき科目等は 8.2 参照のこと。

一級建築士	建築環境デザインコース、都市基盤工学コース（現在、申請中）	指定科目を 60 単位（分野別要件あり）とれば、一級建築士の受験資格が得られる。もしくは、二級建築士を取得すれば、受験資格が得られる。ただし、一級建築士になるためには、合格後、実務経験 2 年が必要。
二級建築士	建築環境デザインコース、都市基盤工学コース、機械エネルギー工学コース、メカニカルデザインコース、電気エネルギー工学コース、電子デバイス工学コース（現在、申請中）	指定科目を 40～20 単位（分野別要件あり）とれば、実務経験 0～2 年で二級建築士の受験資格が得られる。
建築設備士受験資格（実務経験 2 年以上）	建築環境デザインコース、都市基盤工学コース、機械エネルギー工学コース、メカニカルデザインコース、電気エネルギー工学コース、電子デバイス工学コース	<ul style="list-style-type: none"> ・大学において正規の建築・機械・電気の課程を修得し卒業した者：実務経験 2 年以上。 ・卒業証明書と成績証明書を提出して学生を個別に認定する。 ・試験は、一次試験で学科、二次試験で製図（電気設備図など）。
士地区画整理士	受験生が個別に申請し、指定学科同等と認められるコース：建築環境デザインコース、都市基盤工学コース	<ul style="list-style-type: none"> ・大学を卒業後、以下の実務経験が必要 指定学科：1 年以上 指定学科外：3 年以上 ・試験機関：一般財団法人全国建設研修センター ・受験に必要な提出資料： 卒業証明書、成績証明書または単位取得証明書

コースへの配属

(理工p. 3-5)



A. 特別入試合格者

- ・数理分野，物理分野に属する学生は，それぞれ数理サイエンスコース，物理学コースに配属されます。
- ・化学分野に属する学生は入学時に決められたコースに配属されます。
- ・情報分野，機械工学分野，電気電子工学分野，都市工学分野に属する学生は，本人の希望と1年次に履修した次ページに示す表4の全科目の成績にもとづき配属されます。

B. 一般入試合格者

- ・1年次後期の「データサイエンスII」の最後の授業の際に，コースの配属希望調査を行います。
- ・配属は本人の希望にもとづき行いますが，各コースの配属目安人数を超えた場合は**成績順**となります。なお，所属するコース類に対応するコースへの進学希望に対する優先権は設けていません。
- ・**成績の順位付け**は，1年次に履修した次ページに示す表4の全科目の評点に対して，単位数と表4および表5に示す係数を乗じて全科目数で割った平均点を用いてコース毎に行います。
不合格科目についても，その評点を用いて平均します。
なお，係数は各コースで修学する上での適性を考慮して定められています。

コースへの配属

(理工p. 3-5)



◆ 各コースの配属目安人数

コース	配属目安人数
数理サイエンスコース	30
知能情報システム工学コース	40
情報ネットワーク工学コース	30
生命化学コース	35
応用化学コース	50
物理学コース	35
機械エネルギー工学コース	45
メカニカルデザインコース	45
電気エネルギー工学コース	42
電子デバイス工学コース	43
都市基盤工学コース	50
建築環境デザインコース	35

表4. コース配属にて成績の順位付けに用いる科目と係数(1)



(理工p. 3-6)

コース	教養教育科目						専門教育科目				
	大学入門科目	共通基礎科目		基本教養科目			インターフェース科目	学部共通基礎科目	学部共通専門科目	コース類共通 専門科目	
		外国語科目	情報リテラシー科目							必修	選択
				英語	情報基礎概論	自然科学と技術の分野					
数理サイエンスコース	1	1	1	1			1	1	※	※	1
知能情報システム工学コース	1	1	2	1			1	1	※	※	1
情報ネットワーク工学コース	1	1	2	1			1	1	※	※	1
生命化学コース	1	1	1	1			1	1	※	※	1
応用化学コース	1	1	1	1			1	1	※	※	1
物理学コース	1	1	1	1			1	1	※	※	1
機械エネルギー工学コース	1	1	1	1			1	1	※	※	1
メカニカルデザインコース	1	1	1	1			1	1	※	※	1
電気エネルギー工学コース	1	1	2	1			1	1	※	※	1
電子デバイス工学コース	1	1	2	1			1	1	※	※	1
都市基盤工学コース	1	1	1	1			1	1	※	※	1
建築環境デザインコース	1	1	1	1			1	1	※	※	1

表5. コース配属にて成績の順位付けに用いる科目と係数(2)



(理工p. 3-7)

コース	学部共通専門科目							コース類共通専門科目(必修)						
	微分積分学 Ia・Ib	線形代数学 Ia・Ib	物理学概説	化学概説	生物学概説	データサイエンスI	理工概論	微分積分学 IIa・IIb	線形代数学 IIa・IIb	物理演習	化学演習	プログラミング	データサイエンスII	
数理サイエンスコース	3	3	1	1	1	1	1	3	3	1	1	1	1	
知能情報システム工学コース	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	2	
情報ネットワーク工学コース	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	2	
生命化学コース	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1	3	1	1	
応用化学コース	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1	3	1	1	
物理学コース	3	3	3	1	1	1	1	3	3	3	1	1	1	
機械エネルギー工学コース	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
メカニカルデザインコース	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
電気エネルギー工学コース	3	3	3	1	1	2	1	3	3	3	1	2	2	
電子デバイス工学コース	3	3	3	1	1	2	1	3	3	3	1	2	2	
都市基盤工学コース	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
建築環境デザインコース	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	